



## 農試公園

川 端 隆 元 札幌市立八軒中学校 (3年)

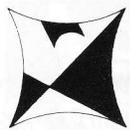
第20回北海道教育美術展奨励賞作品

評 画面構成がすばらしく、奥行きや広がりなど公園の雰囲気をよくとらえて表現しています。鋭く洗練された豊かな感性を感じさせる作品です。

### 目 次

更なる発展を願って……………2  
 釧路大会に期待します……………3  
 第44回全道造形教育研究・釧路大会…4・5

わたしの学校・わたしの実践……………6  
 あらためて美術教育を考える……………7  
 サクラクレパス・あとがき……………8



# 北海道 造形教育 連盟報

No. 97 1994.6.25 発行

発 行 北 海 道 造 形 教 育 連 盟

事務局 〒065 札幌市南区真駒内泉町3丁目

札幌市立真駒内南小学校 白 井 罔 毅

☎011-581-0221



# 更なる 発展を願って

北海道造形教育連盟委員長

鹿嶋 健

(札幌市立栄町小学校長)

全道各地の遅い花だよりが聞かれた4月29日、恒例により平成6年度地区委員総会が開催されました。

委員の皆様には、ゴールデンウィークの初頭にもかかわらず全道各地より多数のご参加をいただき、活動方針等ご熱心に審議していただきました。

お陰様で本年度の活動方針、事業計画、予算案等の決定をみて発足することができました。心よりお礼申し上げます。その席上で、昨年に引き続き委員長としてご推挙いただきました。このことは本部が札幌に設置されていることに加え「動きが足りない、もう1年やれ」との温かい叱咤と受け止めております。

何分、浅才非力の私ですが、多くの諸先輩が築かれました連盟を大切にするとともに今後の発展のために努力することが私に課せられた責務であろうと考えます。

幸いに副委員長さん全員に残っていただきましたので、皆さまのお力添えをいただきながら務めを果たして参りたいと思っております。ご協力を切にお願い致します。

さて、ご承知のように学習指導要領の改訂・実施も今年度の高等学校の改訂をもって全て完了したことになります。この一連の改訂の中で最も強調されていますことは、『児童・生徒一人一人の心身にわたる望ましい発達と成長を促すとともに、児童・生徒が生涯にわたって自分の考えをもち、自分のよさを発揮しながらたくましく生きていく資質や能力を自ら獲得していく』ということでもあります。

これを図工・美術の教科としてとらえてみますと『自分らしい思考力、創造力、美的判断力を発揮して、豊かな発想・構想をするとともに、それらとのかかわりの中で技術や技法を身につけ、進んで創造活動を楽しもうとする態度を育てる。』ことになろうと考えます。

従来、図工・美術科はともするとよい絵、よい作品

を制作することに主眼がおかれて、その指導も表現の手段である技法や技術におちいる傾向にありました。

それを改め、授業の形態を教師先導型から児童・生徒先導型に変え、子どもの発想や表現をありのまま認めていかなければなりません。

また、中学校、高等学校における選択制の問題も連盟が抱える課題の1つです。中学校では英語科の重視によるしわ寄せが美術科を圧迫していますし、高校の選択制の拡大は、美術科を履修しなくともよい方向に進んでいます。今こそ、声を大にして美術科の重要性を説く必要があると考えます。

更に、全道各地の連盟組織の強化も気になるところです。今まで連盟を支えてくださった多くの方がご退職される中で、次の世代を担う人材の加入がはかばかしくありません。いろいろ困難な問題があると思われませんが、是非、若手の育成をお願い致します。

本連盟は研究団体であり、常に造形教育のあり方の研究を深め、底辺を拡大することが使命であります。

昨年の旭川大会では、『思いをあたため、心はずませ、創る喜びを』を主題として実践発表がなされ大きな成果を上げることができました。

本年度は、第44回釧路大会、『心ときめく、創造の喜びを求めて』の主題で釧路市立柏木小学校で開催されます。いま、釧路の皆さんはその準備に努力されておられることと拝察いたします。釧路大会の実践と成果に大きく期待を寄せるとともに心から成功を祈るものです。

明年度、第45回大会は石狩地区千歳市で開催と決定されました。各大会開催地の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。それでは、この夏、全道各地の造形の仲間を誘い合い、7月27日・28日、霧の街・ロマンの街、釧路市でお会いしましょう。

	平成6年度		役	員		
委員長	鹿嶋	健	札幌市立栄町小長	副委員長	船着 昭弘	札幌市立伏見小長
副委員長	稲船	正男	標茶町立中茶安別小中長	監 査	山宮 喬也	北見市立緑小長
副委員長	和田	弘	恵庭市立恵庭中長	監 査	寺本 吉明	芽室町立芽室小長
副委員長	金谷	彊	函館市立旭岡小長			

## 釧路大会に期待します

— 研究の方向性を探る —

北海道造形教育連盟研究部長

菅原 清貴

(札幌市立三角山小学校)



はじめに……心ウキウキが大切

広大な北海道の魅力を本当に感じるの、道東が一番だと聞きます。実は私事です。道東は一步も足を踏み入れたことがありません。井の中の蛙とは私のことでしょう。今から心ウキウキです。未知のものに触れたい・冒険してみたい。そんな時、人間は心が高揚するのですね。

### 造形教育の価値

現在地球を覆う様々な問題は、そのほとんどが人間のつくりだしたものです。したがって、我々が解決していく責任があるのです。その鍵を握るひとつが、大国主義的エゴイズムを脱して、あらゆるものと共存・共栄していくシステムと文化をもつことではないかと思えます。そこでもとめられる人間性は、知的・文化的生産能力の高い、個性的・創造的でしかも感性豊かな人間であるといわれています。さらに付け加えると、冷淡でなく温かで潤いのある心情をもつ人間でなくてはならないでしょう。

それは、短いスパンで志向できるものではなく、長期的な展望をもちながら着実に押し進めていくものでしょう。

完全週5日制の導入などの中で、教科の再編が目前に迫ってきているといえます。その中で、造形教育の危機を唱える人もいます。しかし、創造性や個性を育てる教科として造形教育の果たす役割は、ますます重要にこそなれ軽視されることはないと考えています。

そこで、教師の教え込みからの脱却を果たし、新たな造形教育の価値(豊かな人間性創造の教科)を社会的に認知させていく必要があります。

今果たさなくてはならないものと、長期的な展望に立って指向していくことに整理して造形教育の新しい種を蒔かなくてはなりません。

後者は、造形教育が社会に与える価値にまで及びます。すぐには実になるものではないが、太い幹から大きく枝を張り、絶えず新しい、しかもますます美しい実を結ぶはず。それでは今急ぐものとはなにか。

今果たさなくてはならないものとは

ひとことかというと『魅力ある授業の創造』です。子どもの内発するつくりたいと願う意欲を喚起し、腹の底から沸き上がる旺盛な「やる気」を引き出すことです。そこからは、最後までやり通す強い意志やそこに至るまでのプロセスの大切さも重要になります。

具体的には次の3点を念頭において授業を構築することです。

1. 子どもの意欲を高める題材の開発や再開発。
2. 子どもの意欲が連続する題材の構成の工夫。
3. 子どもの意欲が表出する学習展開と評価の工夫。

これを通して『魅力ある授業』に一步でも近付き一人一人の子どもに満足感や成就感をたっぷり味わわせることです。

その結果として、主体的に追求し他の子の表現も認め合う素直で優しさに満ちた温かな子どもの姿を期待したいのです。

この子どもの姿から、一人一人の特性や有能性を我々教師は学ぶことです。子どもが見える教師・子どもから学ぶ教師でありたいものです。

### 北海道造形教育連盟のめざすもの

それでは、当連盟の短期・長期のめざすものを念頭において今何が必要なのかを挙げましょう。

1. 豊かな心とたくましさ育てる教育の充実の中で図工美術の担うべきものを明確にした授業づくりを行う。…主体的創造力を育てる学習スタイル
  2. 基礎・基本の重視と個性を生かす教育の調和的な達成をどう実現させるか。…基礎・基本と個性
  3. 造形活動の生活化をめざす自主的・自発的な学習の促進…生涯学習の中での造形教育の役割
  4. 地域の特性を大切にされた造形活動の一層の充実を図る。…北の自然・人間から生まれる造形教育
- おわりに……『魂の色』が見える研究を

顧問の長谷川傳先生が我々の研究に期待され『魂の色をより鮮明たれ。』と言葉をかけてくださいました。子どものそして、教師の心を問題にするレベルから、さらに魂にまで昇華した創造教育をめざしたいものです。釧路の大自然から『魂の色』が響いてくる授業を期待しています。

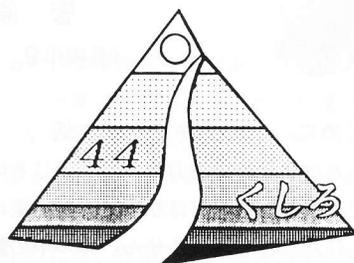
また、旭川で種を蒔いた造形教育の全道ネットワークが、この釧路で芽を出し成長することを願っています。10年後大きな大樹となって全道に根を張り、枝葉をつけ豊かな実を結ぶことを願っています。

---

# 第44回 全道造形教育研究大会 釧路大会

釧路大会研究主題

「心ときめく、創造の喜びを求めて」



会 期 平成6年7月27日(水)・28日(木)

会 場 釧路市立柏木小学校

〒085 釧路市柏木町11番15号

釧路市生涯学習センター

☎(0154) 41-8361 FAX 41-8362

---

## 会場校のご案内

### 釧路市立柏木小学校

バン・マガモ・ホオジログモなどの水鳥がむれ遊ぶ春採湖に面して建てられている。

昨年、釧路市でラムサール国際会議が開催され、本校前面の春採湖の木道に沿い散策道が設けられた。

科学館、埋蔵文化財調査センター、生涯学習センターなど文化施設に隣接した学校である。

昭和30年に設立、平成2年に校舎が改築され、平成6年9月30日に開校40周年の式典が挙行される予定である。

オランダから購入された釣鐘の音色が時を知らせ3階までの吹き抜けのオーロラホールは、太陽のシャワーを浴び解放感を子ども達に与えている。

また、広いワークスペースのあるオープンスペースは、個に応じた指導に最適な学習環境である。



平成5年に釧路市の環境教育のモデル校の指定を受け、授業に視点を当て新しい教育の動向を全校一丸となり取り組んでいる。

## 釧路大会の見どころ

### 1. 子どもの思いを生かした授業

釧路造形では、研究部を中核に一人一人の造形能力を高める指導法を究明した授業実践で望ましい授業の



あり方を追求してきた。

その過程で一人一人の子どもの良さや思いを生かした子ども側に立つ授業のあり方は、どのようにしたら

よいか、少しながら明らかになってきた。

子どもの願いや夢を表現させるための手だては、題材によって違ってくる。

子どもの思いを生かすために何を支援したらよいのだろうか。どのようにしたら一人一人の子どもを知り最適な支援をすることができるのか。解決しなければならないことが沢山ある。

子どもの思いを生かした授業展開は、奇を衒うものでなく地道に一人一人に応じた指導を工夫することにあるのではないだろうか。

本大会の授業実践は、ベテランの皆様方にとっては拙いものに映るかも知れませんが、「心ときめく、創造」(大会テーマ)を求めて授業者、部員が一丸になり取り組んでいる姿をくみ取って欲しいものである。

今回の研究会で全道各地の皆様方のご指導により、子どもの良さを生かす指導のあり方を明らかにして明日からの財産を増やして欲しいと願っている次第である。



## 2. 授業構成

子どもたち一人一人が、その子のよさや可能性を発揮する「表現」「造形あそび」「立体にあらわす」「絵にあらわす」「つくりたいものをつくる」「絵画」「工芸」「彫塑」等の10本の授業を用意している。

幼稚園2本、小学校4本、中学校4本の授業構成であるが、中学校3年では、僻地の授業を公開する。

子どもたち自ら主体的な表現活動をするための構築のあり方や、新しい学力観に基づいた評価のあり方の

工夫などについて全道の皆様方の貴重なご意見をいただければ幸いである。

## 3. 分科会構成

分科会は二つに分けられ、分科会1では、授業についての話し合いについて焦点を絞った分科会構成とした。

分科会2では、幼稚園1、小学校3、中学校2、高校1、障害児1の8分科会となっており、主に提言内容について話し合いをする分科会構成となっている。

各分科会で全道各地の皆様の方の活発な提言を期待したい。

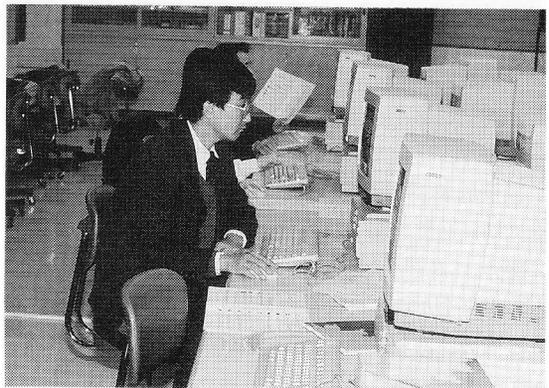
## 4. コンピューターグラフィック教室

世はコンピューター時代である。釧路造形でも昨年研究部を中心に「コンピューターグラフィック」の授業や教師自身の実技に取り組んでみた。

慣れない手つきでキーボードを操作して絵を画面に描いたり、デザインしたりして夢中になり熱心に取り組んでいる教師の姿に明日の時代を担う熱気を感じた。

そこで今回の大会では、コンピューターグラフィックの教室を位置付けてみた。

時間をみてコンピューターグラフィック教室に参加しコンピューターを操作してみても、いかがですか。



釧路大会事務局〈問い合わせ・参加申し込み先〉

〒085 釧路市柏木町11番15号

釧路市立柏木小学校 中村紀雄

☎ 0154 - 41 - 8361・8362

## わたしの学校・ わたしの実践



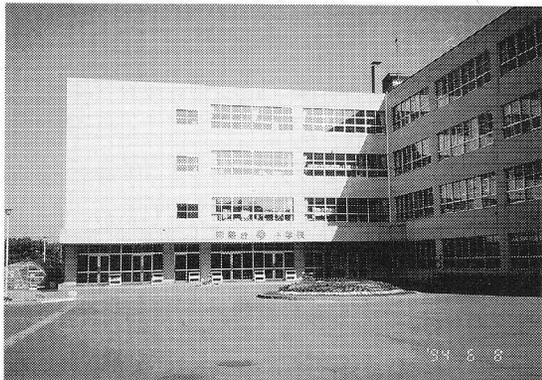
千歳市立向陽台小学校  
松島 斉

### 《学校の紹介》

世界を結ぶ空の玄関のまち、そして美しい自然に恵まれ、たくましく発展を続けるまち千歳…。臨空工業団地の開発と共に、新しい住宅団地として拓かれた泉沢向陽台の地に昭和57年4月、本校は開校しました。

当時は、学級数10学級、児童数321名、教職員数18名でしたが、その後住宅の増加に伴い児童数が増え、校舎も増築しました。現在では、学級数26学級、児童数935名、教職員数40名となりました。

校舎4階からは、360度の展望が開け、西に樽前山と風不死岳、南に勇払原野、東に臨空工業団地と千歳空港、千歳市街と遠くの夕張の山、そして北に森や林が見られます。この豊かな自然環境の中で、子ども達はこのびのびと活動しています。



### 《児童の活動》

開校以来、地域の自然を生かし、自然との触れ合いを大切にして、自ら学ぶ意欲と豊かな心情を育てることに努め、「花と小鳥と緑の学校」をテーマにしてきました。児童会が中心になって活動していることに次のようなものがあります。

#### ①植物栽培活動として

・一人一本栽培 ・一人一鉢栽培 ・兄弟学級花壇づくり ・なかよし花壇づくり…など。

#### ②小鳥の世話・観察として

・小鳥のレストラン経営 ・小鳥の観察活動。

#### ③発表集会としての「花と小鳥の集会」など。

#### ④社会福祉への参加として

- ・地域老人との交流 ・校外奉仕活動など。
- ⑤日常活動として
- ・オアシス運動 ・美化や掲示活動…など。

### 《校内展示》

すべての子どもの作品を掲示するなかで、生きた学習環境づくりをし、児童の創作意欲を高めています。

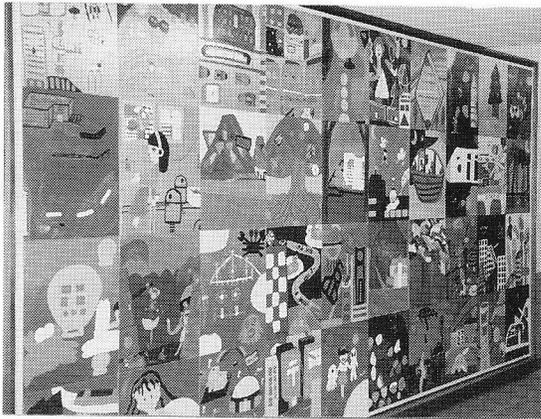
①学級掲示板、学年掲示板の活用で、工夫をこらし、情報交換を図るとともに、児童の創作意欲を高めています。

②全校向け掲示のため、各階の掲示板を活用しています。

③夏・冬休み作品展に各階のホールを活用。

④校外作品展、地域作品展に積極的に参加。

その他、体育館や廊下、階段ホールなどに卒業制作の壁画、花や小鳥の写真や資料を展示しています。また、新千歳空港ターミナルビル3階に展示の壁画「21世紀・夢・未来」を本校児童（4～6年生）が制作しましたが、その時に制作した兄弟壁画を体育館入口前に展示しています。



### 《校内研究》

平成4年度までは、前記のように児童のふれあい活動を中心にした、学級活動・児童会集会活動を校内研究としてきました。今回、平成7年の第45回全道造形教育研究大会の会場校をひきうけることになり、これを機会に図工科を中心とした校内研究に取り組むことになりました。初年度は、図工科のあり方について学習し、「子どもの主体的活動を大切にする」ことを確認しました。2年目である本年度は、「授業のあり方」をさぐる授業実践研究を進めることにしています。今後、皆様のご支援とご指導をいただくことになると思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



## あらためて美術教育を考える

千歳市立北陽小学校長

関 建 治

新教育過程が完全実施の時期に入り、各学校では、今、実践・評価の年を迎えているのではないかと思います。子ども達の指導のあり方や、評価のあり方をめぐっては、多くの評論が成されております。しかし、美術教育に関して言えば、現実には、「思いのまま」「思いを持って」と語られている内容には、どこことなく抽象的な印象がぬぐいきれないのも事実ではないでしょうか。本来「思い」とは、人がある一定期間あるいは人生の一時期に抱き続ける心の状態を指して用いられる言葉であり、造形活動の中で用いられる場合には、造形文法というものと切り離して考えることはできないと思います。

美術教育は、これまで、めざす子ども像や、子どもが獲得すべき学習内容の価値には、何ら関与しないできたとは考えられません。それは、教育を通して価値判断できる感覚や能力をどう体得させていくかということから無縁であったとは思われなからです。多くの美術教師は、子どもを丸ごと見つめ、その健やかな成長発達を願い、全教育活動の中で、美術教育の実践

に取り組んできたと思います。その意味では、言語表現によって育てようとするものと、造形表現によって育てようとするものとは、教育という根っこの部分では密接不可分のものであるはずで

「思いのまま」「思いを持って」表現する活動には子どもの心を解放し、様々な制約を取り除いた環境の中で、子どもの表現を引き出すという点で、まさに新しい学力観が求めている、自ら思考し、判断し、表現する力を培うものであると思われます。一方で題材の与え方を一歩誤った時は、子どもへの悪しき迎合主義におちいる不幸な表現活動になりかねない要素を持っているのではないのでしょうか。

私たち美術教育に携わる教師は、これまで積み上げてきた子ども観、子どもの作品の読み取り方、子どもの造形能力の育て方等の財産を生かしつつ、子どもの造形学習の節々で、子どもの「思い」を表現に結びつける「支援」のあり方を探っていくべきであり、決して子どもを迷路に立たせるようなものであってはならないと思います。

### 第21回北海道教育美術展のご案内

「北海道教育美術展」は、第21回展を迎えることとなりました。

作品の質の向上をめざすと共に、参加校が増えることを願いながら企画・運営に当たってまいりましたが、昨年は、14,590点、233校の参加を見ることができ、連盟の趣旨が、全道各地に確実に広がりとつながりを感じております。平成6年度、第21回北海道教育美術展の日程は下記のように決定いたしました。暮れには、子どもの思いがあふれたたくさんの作品に出会うことを楽しみにしております。



昨年を上回る出品を期待しております。

- ・ 会 期 平成7年1月12日(木)～17日(火)
- ・ 会 場 札幌駅前さっぽろ東急百貨店10階
- ・ 表彰式 平成7年1月15日(日) 午後1時より  
札幌駅前さっぽろ東急百貨店モナリザスクール
- ・ 審査日 平成6年12月26日(月)・27日(火)
- ・ 締切日 平成6年12月16日(金)
- ・ 送付先 〒065 札幌市東区北36条東13丁目3-1

札幌市立栄町小学校内

北海道教育美術展係 宛

\* 問合せ 札幌市立琴似中央小学校 小柳雄嗣

011 (631) 6306

# 発色鮮やか広がるアート

## 🌸 ニューサクラカラー



パネル制作



色も豊富に25色



600ml  
ポリビン容器入

WATER PROOF  
耐水性

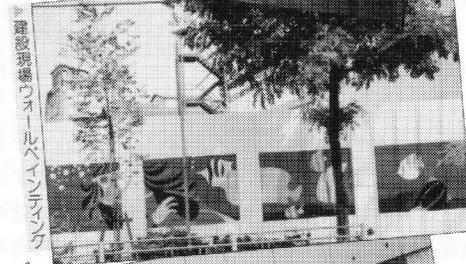
▶ 特長 ◀

サクラニューカラーは、水溶性樹脂(アクリルエマルジョン)配合の木や布・石・金属・プラスチック・発泡スチロールと幅広い対象物に使用できる新しいタイプの絵の具です。

▶ 用途 ◀

共同制作、屋外展示作品、パネル、看板  
店頭広告、舞台装飾、室内装飾 etc.

石・金属・プラスチックにもかける  
ニューサクラカラー



防波堤を使つての壁画制作

商品名	規格	小売価格
しる	ETPW# 50	1,100円
きいろ	ETPW# 3	1,100円
あか	ETPW# 19	1,300円
みどり	ETPW# 28	1,300円
あお	ETPW# 26	1,100円
くろ	ETPW# 48	1,300円
やまびきいろ	ETPW# 4	1,100円
ちいりいろ	ETPW# 12	1,100円
しほいろ	ETPW# 18	1,300円
むらさきいろ	ETPW# 25	1,100円
きみどり	ETPW# 27	1,100円
あかむらさき	ETPW# 124	1,500円
だいだいいろ	ETPW# 5	1,300円
ほいろ	ETPW# 7	1,100円
おらどいろ	ETPW# 15	1,100円
ピンク	ETPW# 30	1,300円
ふかみどり	ETPW# 30	1,300円
ぐんじょういろ	ETPW# 38	1,300円
しろみいろ	ETPW# 2	1,100円
こげいろ	ETPW# 17	1,100円
むらさき	ETPW# 24	1,300円
あいいろ	ETPW# 43	1,100円
ローズ	ETPW# 120	1,300円
そらいろ	ETPW# 128	1,100円
オペレット	ETPW# 121	1,500円

**株式会社 サクラクレパス**  
 大阪 千537 大阪市東成区中道1-10-17 TEL.(06) 972-1241(代)  
 東京 千111 東京都台東区蔵前3-20-2 TEL.(03) 3962-3911(代)  
 札幌 千304 札幌市中央区南四条西13-1-26 TEL.(011) 263-5161(代)  
 名古屋 千462 名古屋市中区平田1-5 TEL.(052) 381-7841(代)  
 九州 千812 福岡市博多区住吉5-5-15 TEL.(092) 474-1182(代)

### あ と が き

釧路大会の実践のひびきが感じられる大会案内がとどけられました。たくさんの実践が全道各地から集まりネットワークの輪もさらに大きくなることが期待されます。心ときめく夏に…!

中居正光(東札幌小) 元茂章子(美しが丘小) 今 裕子(真駒内緑小) 伊藤 尚(上野幌中) 毛馬内國夫(桑園小)